

はねびょん健康ポイントの充実

重プ

予算額 5,584万3千円

副題：健康づくり習慣の定着化により健康寿命の延伸を目指します

ポイント

事業を開始して2年目は、企業やグループ単位での健康づくり活動の実績や成果を見える化し、楽しみながら健康づくりを継続できる仕組みを充実させます。
また、区民から頑張るきっかけになると好評の健康ポイント制度（ポイントに応じて、抽選で景品をプレゼント）を継続します。

事業概要

1 企業対抗ランキング

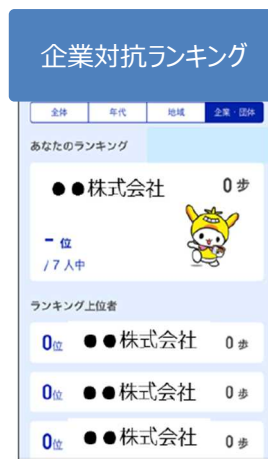
令和2年度は、働き盛り世代の参加を進め、健康経営の考え方を促すために、企業やグループ単位での参加ができる仕組みとして「企業対抗ランキング」を実施します。

2 SNSを使って情報共有

グループ単位で健康づくりに取り組み、写真やコメントの投稿、口コミなど気軽に楽しく情報共有ができるようにします。

3 キャラクターの育成

アプリの中で自身の分身であるキャラクターの育成もできるようになります。



※画像はイメージ図です

| | | | |
|------|------|-------|----------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 健康政策部 | 健康づくり課 |
| | 副参事 | 関 | 電話 5744-1281（地域保健担当） |
| | 担当者 | 片寄 | 電話 5744-1661 |

「おおた健康経営事業所」の認定

重プ

予算額 177万8千円

副題：23区初！中小企業などが集積する大田区ならではの取り組み

働き盛り世代従業員の健康づくりに取り組む区内事業所を認定します

ポイント

昨年度に引き続き、働き盛り世代の区民の健康増進に向け、従業員の健康づくりに積極的に取り組む区内事業所を「おおた健康経営事業所」として認定します。

事業概要

1 健康経営事業所の認定

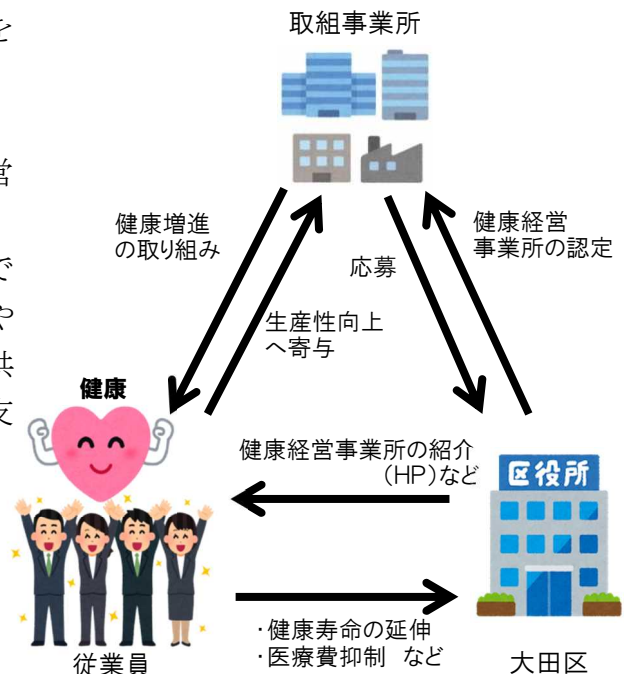
区内の健康経営に取り組む事業所を募集し、審査のうえ認定します。

令和元年度、従業員の健康増進に積極的に取り組む19の事業所を健康経営事業所として認定しました。

認定した事業所は、区ホームページで公表するほか、認定ロゴマークの使用や健康機器の貸出、健康に関する情報提供など、従業員の健康増進の取り組みを支援します。

2 健康増進の取組啓発

有識者や健康経営認定事業所などによる講演会を実施し、健康増進の取り組みを啓発します。



| | | | |
|-----|------|-------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 健康政策部 | 健康医療政策課 |
| | 課長 | 佐々木 | 電話 5744-1261 |
| | 担当者 | 雲藤 | 電話 5744-1682 |

「キラリ☆健康おおた」の推進

予算額 334万7千円

副題：区民の健康づくりを推進します

ポイント

健康寿命延伸のための4つのアクション（①適度な運動、②適切な食事、③休養、④喫煙・飲酒のリスクの理解と行動）及び健康診断・がん検診の受診推奨の取り組みを「キラリ☆健康おおた」と称し、区民への普及啓発と区民の健康づくりへの取り組みを推進します。

事業概要

1 「キラリ☆健康おおた」定期刊行情報誌の制作

「キラリ☆健康おおた」の普及を目的に、健康づくりに関する情報や区の取り組みについて定期的に特集を組み発信していきます。

2 健康パンフレットの配布

「キラリ☆健康おおた」に関する区の取り組み（健康づくりの4つのアクション、健康診断・がん検診の受診推奨、区の各種事業）を紹介するパンフレットを活用し、健康づくりに向け積極的に啓発します。

キラリ☆
健康おおた



いつまでも
はねびよん
できるからだづくり

| | | | |
|-----|------|-------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 健康政策部 | 健康医療政策課 |
| | 課長 | 佐々木 | 電話 5744-1261 |
| | 担当者 | 雲藤 | 電話 5744-1682 |

がん対策の強化及び新たな検診の導入

新規

予算額 1億7,763万1千円

副題：検診受診率の向上とヘルスリテラシーの普及に取り組みます

ポイント

がん検診などの受診率向上のため、検診無関心層へ啓発活動を推進します。
また、人生100年時代を見据え、QOL（Quality of Life）の確保につながる
検診の充実を図ります。

事業概要

1 検診無関心層への啓発活動

今まで検診を受診したことのない「検診無関心層」をターゲットに啓発活動を行い、検診受診へ行動するきっかけを作ります。

(1) 大腸がん検診 自己負担金無料化

大腸がん検診（自己負担金200円）を、令和2年度は無料で実施します。

(2) スポーツイベントにおける検診受診勧奨

「健康」をテーマにしたスポーツイベントの参加者に
大腸がん検診を体験する機会を提供し、
検診の重要性を啓発します。

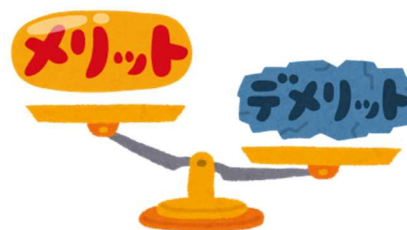


2 ヘルスリテラシー講演会 ～がん検診のメリット・デメリット～

多くの情報が溢れる現代において、ヘルスリテラシーを身につけることの重要性が高まっています。そもそも住民検診としてのがん検診とは何か、検診のメリット・デメリットなどを学ぶ機会を提供し、区民に検診を受診することの理解と関心を深め、受診率向上につなげます。

※ヘルスリテラシー (health literacy)・・・

健康面での適切な意思決定に必要な、基本的健康情報やサービスを調べ、理解し、効果的に利用する個人的能力。



3 骨粗しょう症検診の開始

骨粗しょう症は閉経後の女性に多い病気で、寝たきりの原因にもなり、QOL（生活の質）の低下を招きます。検診機会を設けることにより早期発見、早期治療につなげます。

- (1) 対象 40、45、50、55、60、65、70 歳女性
- (2) 検診内容 問診・骨量測定
- (3) 自己負担額 500 円



4 眼科（緑内障等）検診対象年齢の拡大

区は眼科検診の対象を 45・50・55・60・65 歳の特定年齢に限定していましたが、令和 2 年度から対象年齢を拡大し、40 歳及び 70 歳を加えます。

- (1) 対象 40、45、50、55、60、65、70 歳
- (2) 検診内容 問診・視力検査・眼圧検査・
細隙燈顕微鏡検査及び眼底検査・
前房隅角検査・眼底カメラ撮影
- (3) 自己負担額 500 円



| | | | |
|------|------|-------|-----------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 健康政策部 | 健康づくり課 |
| | 副参事 | 関 | 電話 5744-1281 (地域保健担当) |
| | 担当者 | 三田 | 電話 5744-1265 |

医療相談窓口（コールセンター型）開設事業 新規

予算額 516万1千円

副題：区民の医療に関する悩みを解消します

ポイント

区民が抱える医療に関する悩みを解消するため、看護師が常駐する医療相談窓口（コールセンター型）を開設します。

区民の医療に関する不安を取り除き、また医師会などにフィードバックすることで、医療の安全・安心につなげます。

事業概要

区民からの医療や区内診療所に関する相談・苦情について、病院での従事経験のある看護師が相談員となり、適切な助言を行い区民が抱える悩みを解決できるように支援します。

相談の件数や傾向を集計した報告書を医師会などにフィードバックし、区民と医療機関との信頼関係の構築に役立てます。



| | | | |
|------|------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 健康政策部 | 生活衛生課 |
| | 課長 | 三井 | 電話 5764-0690 |
| | 担当者 | 松坂 | 電話 5764-0692 |

ひきこもり支援の充実 **重プ**

予算額 796万9千円

副題：「ひきこもり・生きづらさ茶話処」の充実と

ひきこもりの実態調査を行います

ポイント

ひきこもりの本人、家族および関係者の交流・相談のきっかけづくりを目的とした「ひきこもり・生きづらさ茶話処 in 大田」の開催を増やします。
また、今後の施策を検討するため、ひきこもりについて実態調査を実施します。

事業概要

1 「ひきこもり・生きづらさ茶話処 in 大田」の充実

平成30年から地域家族会や支援事業所、JOBOTAなどと連携して実施していた「ひきこもり・生きづらさ茶話処 in 大田」の開催回数を増やし内容を充実することで、地域の関係機関とのネットワークをさらに強化します。

ひきこもり・ 生きづらさ茶話処 in 大田

スタッフ（当事者・ひきこもり支援機関・区職員等）や他の参加者と、お茶を飲みながらお話しをしたり、笑いしたり、ほっとしたり、時々個別相談をしたり。
どんな過ごし方をしても、いつまで、いつ帰ってもよい、自分らしくいられる場所です。
ひきこもりのご本人、ご家族、支援機関の方の参加をお待ちしております。

開催日程（入退場自由）
令和2年2月29日（土）
13時30分～16時00分
会場 入新井集会所 Luz 大森 4階
【住所】 大田区大森北一丁目10番14号
【交通アクセス】 JR大森駅東口から徒歩約3分、京浜東北線大森駅から徒歩約10分

※参加費は特設ページにてお知らせいたします。ご予約は問い合わせ先までお願いいたします。また、相談のため優先させていただきます。ご登録ください。

特別企画 JOBOTA 見学会

特別企画了集（16時以降に）、「生活再建・就労サポートセンター」JOBOTA（ジョボタ）の見学会を行います！
参加申し込みは不要で、当日終了後スタッフからお誘いかけします。
JOBOTA住所：大田区大森北1-11-1 緑蔭大森ビル4階

2 ひきこもりの実態調査の実施

今後の事業及び支援を検討する基礎資料として、無作為抽出によるひきこもりの実態調査を実施します。

| | | | |
|-----|------|-------|--------------|
| 問合先 | 担当部課 | 健康政策部 | 健康づくり課 |
| | 課長 | 松下 | 電話 5744-1660 |
| | 担当者 | 竜崎 | 電話 5744-1683 |

人生 100 年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト 新規

予算額 1,600 万 9 千円

副題：大田区と東邦大学との共同研究に取り組みます

ポイント

科学的根拠に基づいた政策立案を行うため、東邦大学と共同研究を行います。
区の健康課題や地域特性を 18 地域ごとに調査・分析し、効果的な区のソフト・ハード両面の健康づくり施策に反映させます。
大都市の住民を対象にこの規模で調査研究を行うのは先駆的な取り組みです。

事業概要

1 研究の特色として

- (1) 区内を 18 地域に分けた行政情報の分析、無作為抽出調査・データ分析などによる科学的根拠に基づく戦略的で具体的な健康施策につなげます。
- (2) 区の健康プロジェクト「キラリ☆健康おた」が進める「はねびよん健康ポイント」などの事業の効果検証を行います。
- (3) 従来の健康づくりだけでなく、「健康まちづくり」や「ソサエティ 5.0」の新たな視点を持って取り組みます。



2 研究期間（予定）

令和 2～5 年度

| | | | |
|------|------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 健康政策部 | 健康医療政策課 |
| | 課長 | 佐々木 | 電話 5744-1261 |
| | 担当者 | 雲藤 | 電話 5744-1682 |

大田区奨学金 人材確保型特別減免制度の創設

新規

重プ

予算額 117万7千円

副題：区内で福祉関連職に一定期間従事した人に対して、

区奨学金返還額の半額を減免します

ポイント

現在、福祉関連職の人材確保が喫緊の課題となっています。区の奨学金を借り入れた人のうち、資格を保有して区内福祉関連施設などに勤める人を対象に奨学金の返還額を減免することにより、専門性の高い人材の確保・定着を図ります。

事業概要

区内に居住し、申請から継続して3年間区内福祉関連施設等に勤め、区の指定する資格(介護福祉士、社会福祉士、保育士、幼稚園教諭等)を保有する人を対象に、区奨学金返還額を最大で半額(上限額105万6千円)減免します。

区内の福祉人材の確保・定着を支援することにより、人材確保に悩む施設・法人の負担軽減を図ります。



| | | | |
|-----|------|-----|-------------------------|
| 問合先 | 担当部課 | 福祉部 | 福祉管理課 |
| | 課長 | 長谷川 | 電話 5744-1649 (福祉支援調整担当) |
| | 担当者 | 直井 | 電話 5744-1245 |

人生 100 年時代における老いじたくの推進 新規

予算額 234 万 1 千円

副題：老後の人生設計をサポートします

ポイント

人生 100 年時代といわれる今日において、誰もが生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるよう、元気なうちから将来への不安を相談できる窓口を整備し、老いじたくを推進します。

事業概要

1 人生 100 年時代における老いじたくの推進

(1) 相談会の開催

将来への不安、老後の備えに関心のある区民のために、弁護士や社会福祉士などによる老いじたく相談会を定期的を開催します。

(2) 周知啓発パンフレットの作成

老いじたくに関心を持ってもらうためのパンフレットを作成し、高齢者に周知を図ります。



| | | | |
|------|------|-----|-------------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 福祉部 | 福祉管理課 |
| | 副参事 | 大淵 | 電話 5744-1737 (地域福祉推進担当) |
| | 担当者 | 大川 | 電話 5744-1244 |

成年後見制度利用促進中核機関の設置

新規

重プ

予算額 121万4千円

副題：成年後見制度が必要な人を早期に発見し、
支援につなげる体制づくりを整備します

ポイント

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない人の権利を守るための重要な制度です。

必要な人が適切に制度を利用できるよう、関係機関との連携・調整などを担う「中核機関」を設置し、対象者の早期発見や支援に結びつける権利擁護支援体制を整備します。

事業概要

複雑な課題のあるケースや対応に悩むケースに対して多角的な視点で支援内容を検討し速やかな支援につなげる会議を定期的で開催します。

本人を支援する福祉関係者だけでなく、成年後見分野の専門職である弁護士・司法書士・社会福祉士が加わることで、見落とされがちな本人の権利擁護の視点を踏まえた支援内容について検討します。

事業実施にあたっては、成年後見制度推進機関である大田区社会福祉協議会と連携し、制度の適切な運用や利用促進に取り組みます。



| | | | |
|-----|------|-----|-------------------------|
| 問合先 | 担当部課 | 福祉部 | 福祉管理課 |
| | 副参事 | 大淵 | 電話 5744-1737 (地域福祉推進担当) |
| | 担当者 | 大川 | 電話 5744-1244 |

おくやみコーナーの開設

新規

予算 234万円

副題：ご遺族の負担軽減のため、おくやみコーナーを設置します

ポイント

身近な人が亡くなられた後の手続きについては、故人によって必要な手続きが異なり、中には複雑なものも含まれ、ご遺族の大きな負担となっています。

そこで、区役所及び区役所以外での各種手続きを案内するパンフレットを作成し、必要な手続きの説明などを案内する「おくやみコーナー」を設置します。

事業概要

1 おくやみコーナーの開設

(1) おくやみコーナーの設置（令和2年10月開設予定）

区役所に来庁したご遺族の状況に応じた手続きや担当窓口を案内します。これにより、円滑な手続きとご遺族の心理的負担の軽減を図ります（予約制）。

(2) おくやみ手続案内（パンフレット）の作成

区で必要な手続きに加えて、区役所以外の手続きも含めて網羅的に案内するパンフレットを作成し、その後の手続きをサポートします。

パンフレットは死亡届出の際に渡し、おくやみコーナーでは、このパンフレットを活用し各種手続きについて説明します。

問合せ先

担当部課 区民部 戸籍住民課

課長 杉村 電話 5744-1181

担当者 長谷川 電話 5744-1182

おおたフレイル予防事業

重プ

予算額 621万6千円

副題：フレイルを予防して健康長寿のまちづくりを目指します

ポイント

高齢者のフレイル予防及び健康維持を図るため、普及啓発を推進します。
また、地域住民が主体となるフレイル予防の取り組みを担う人材の育成や取組事例を共有し、高齢者がいきいきと暮らせるまちを目指します。

事業概要

1 フレイル予防の普及啓発

高齢者の「虚弱」を意味するフレイルの状態になることを予防するため、「運動・栄養・社会参加」の普及啓発を推進します。『地域ではじめるフレイル予防スタートブック』などの啓発グッズを作成し、区内各地での配布とともに各種イベントにて配布します。

2 フレイル予防各種講座の開催

住民主体のフレイル予防の活動を推進するため、フレイル予防教室を開催するとともに、活動を担う人材を育成するリーダー養成講座を開催します。

3 地域の取り組みの拡充・推進

各地域のフレイル予防に関する取り組みを報告会で紹介します。地域に合わせた個性的な取り組みを継続していくことができるよう支援します。



問合せ先

| | | |
|------|-----|------------------------|
| 担当部課 | 福祉部 | 高齢福祉課 |
| 課長 | 長岡 | 電話 5744-1428 (元気高齢者担当) |
| 担当者 | 渡辺 | 電話 5744-1624 |

大田区若年性認知症支援相談窓口の新規開設

新規

予算額 2,032万8千円

副題：23区初の若年性認知症支援相談窓口を開設します

ポイント

65歳になる前に発症する若年性認知症者に対しては、医療・介護・就労・社会参加・障がい福祉など、さまざまな分野の支援が求められます。

ご本人や家族の状況に応じた支援を適切に実施するため、23区初の相談窓口「大田区若年性認知症支援相談窓口」を開設（令和2年10月予定）します。

事業概要

若年性認知症は、高齢者の認知症とは異なる問題が存在します。働き盛りの世代であることも多く、医療や介護に係る支援に加え、就労・社会参加、社会保障、障がい福祉サービスなど、多岐にわたる支援が必要です。

区では、これらを一人ひとりに寄り添い支援するため、若年性認知症支援コーディネーターを配置する「大田区若年性認知症支援相談窓口」を地域包括支援センターたまがわ内に開設します。2名のコーディネーターが本人や家族などからの相談を受け、関係機関と綿密に連携をしながら支援に取り組みます。



| | | | |
|------|------|-----|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 福祉部 | 高齢福祉課 |
| | 課長 | 酒井 | 電話 5744-1255 |
| | 担当者 | 潮田 | 電話 5744-1250 |

(仮称) 特別養護老人ホーム大森東整備計画

新規

重プ

予算額 433万1千円

副題：新たに造成された区有地を活用し特別養護老人ホームを整備します

ポイント

在宅生活が困難になった高齢者の安定した生活を確保するため、新たに造成された区有地を社会福祉法人などへ貸し付けて、特別養護老人ホームの整備を支援します。

事業概要

1 概要

貴船堀に新たに造成された区有地を社会福祉法人などへ貸し付けて、特別養護老人ホームを整備します。

令和2年度は、公募により貸付先の選定などを実施します。



2 整備スケジュール (予定)

| | |
|---------|----------------------|
| 令和2年度 | 貸付先法人の公募・選定、土地の測量・登記 |
| 令和3年度 | 施設整備費補助金の審査 |
| 令和4～5年度 | 建設工事 |
| 令和6年度 | 開設 |

| | | |
|------|------|------------------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 福祉部 介護保険課 |
| | 課長 | 大津 電話 5744-1266 (介護サービス推進担当) |
| | 担当者 | 荒川 電話 5744-1637 |

(仮称) 児童発達支援センター田園調布の整備 新規

予算額 1億6,737万円

副題：医療的ケアを含む重症心身障害児への切れ目のない支援を実施します

ポイント

令和3年度開設に向け、「(仮称) 児童発達支援センター田園調布」の改修工事などを行います。

施設の設置により、乳幼児から学齢期の、主に医療的ケアを要する障がい児を含む重症心身障害児に対する切れ目のない支援及びその家族への支援体制を整備します。

事業概要

1 児童発達支援

学齢期前の医療的ケアを含む重症心身障害児を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。

2 放課後等デイサービス

学齢期の医療的ケアを含む重症心身障害児を対象に、放課後や長期休暇期間中、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流を行います。

3 相談支援

施設の利用対象となる障がい児の保護者などを対象に、基本相談、計画相談及び障害児相談支援を実施します。事業者や関係機関との連絡調整も実施します。

4 人材育成

他事業所への援助・助言や障がい者総合サポートセンターと連携した福祉人材育成に係る研修などを実施します。

| | | | |
|------|------|-----|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 福祉部 | 障害福祉課 |
| | 課長 | 黄木 | 電話 5744-1249 |
| | 担当者 | 山邊 | 電話 5744-1700 |

福祉人材の確保・育成・定着

新規

重プ

予算額 195万7千円

副題：大田区の福祉を担う人材の質と量の充実を図ります。

ポイント

大田区版「地域共生社会の実現」に向けて、今後の長期的な社会情勢の変化やそれにとともなう福祉課題などに応じた、区民一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供できるよう、人材の確保・育成・定着を図ります。さらに（仮称）福祉人材センター設置に向けて有識者との検討を開始し、早期設置をめざします。

事業概要

1 福祉人材センター設置に向けた有識者懇談会

区の実態調査の結果などを踏まえて、有識者と設置検討について話し合い、区ならではの取り組みとなる機能構築を進めます。

2 福祉人材の確保・育成・定着の実践

福祉人材センター設置の検討を進めながらも、試行的に次の施策を実施します。

(1) 介護の日本語学習プログラム作成支援

外国人材向けの介護の日本語学習プログラム作成を支援します。

(2) 採用力を高めるためのプログラム

事業者の採用力向上、採用計画の作成などを支援する研修などを実施します。

(3) 若手職員の人材育成・交流プログラム

大田区で働くことのモチベーションや魅力を高められるよう、高齢、障がいなどの分野を越えた区内事業所の若手職員向けの人材育成・交流会を実施します。



| | | | |
|------|------|-----|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 福祉部 | 福祉管理課 |
| | 課長 | 有我 | 電話 5744-1241 |
| | 担当者 | 山本 | 電話 5744-1244 |

地域支え合いの推進

予算額 5,612万6千円

副題：高齢者の力を中心に多世代に渡る支え合いの地域づくりを推進します

ポイント

高齢者の力を中心に、多世代に渡る地域の支え合いの体制づくりを推進します。支え合いの体制づくりの中核的な存在である「地域ささえあい強化推進員」や「地域福祉コーディネーター」などの連携強化や研修の充実に取り組み、地域における高齢者を中心とした自主的な支え合いグループを支援します。

事業概要

1 地域ささえあい強化推進員の拡充

地域の支え合いづくりを進めていく中核人材「地域ささえあい強化推進員」を現在の6人から8人に増員して、高齢者の自助力の強化や、互助による支え合いの地域づくりを推進します。また、大田区社会福祉協議会に配置されている「地域福祉コーディネーター」などとの連携を強化します。

2 地域支え合いの体制を推進する人材の育成

地域支え合いの体制を推進する人材を育成するため、「地域ささえあい強化推進員・地域福祉コーディネーター」の育成及び技術的支援に特化した専門的な研修を実施し、事業のさらなる推進を図ります。



3 地域資源の見える化の推進

区内の高齢者の通いの場などの地域資源情報を見える化する情報収集端末「ミルモネット」の活用を促進し、自主的な支え合いグループの活動を支援します。

| | | | |
|------|------|-----|------------------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 福祉部 | 高齢福祉課 |
| | 課長 | 長岡 | 電話 5744-1428 (元気高齢者担当) |
| | 担当者 | 武田 | 電話 5744-1407 |

蒲田西地区公共施設の整備

重ブ

予算額 11億620万7千円

副題：蒲田西地区公共施設の整備計画を推進します

ポイント

蒲田西地区では、大田区民センター跡地に、乳幼児から高齢者までさまざまな世代が利用しやすく、健やかにいきいきと活動できる地域拠点「(仮称)新蒲田一丁目複合施設」を整備します。

また、蒲田西特別出張所の旧庁舎を大規模改修し、今後も活用していくことで、区民サービスの維持・向上を図ります。さらに、東京都と連携し、都区合同庁舎の建設を進めます。

事業概要

1 (仮称)新蒲田一丁目複合施設新築工事

(1) コンセプト

- ア 地域力の拠点 地域活性化につながる地域活動の場の充実
- イ 子どもの拠点 子どもの生活環境の向上
- ウ 高齢者の拠点 切れ目のない支援を行う高齢者施設の充実

(2) 施設概要

- ア 区民活動施設・文化活動支援施設 (多目的ホール)
- イ 新蒲田保育園・子育てひろば・中高生ひろば
- ウ 地域包括支援センター・シニアステーション

(3) 整備スケジュール (予定)

- 令和2～3年度 建設工事
- 令和3年度～ 運営開始

2 蒲田西特別出張所大規模改修工事

現在、蒲田西特別出張所は、大田都税事務所1階へ一時移転をしています。蒲田西特別出張所の旧庁舎は、大規模改修工事を行い、今後も活用していきます。

(1) 整備スケジュール (予定)

令和2～3年度 大規模改修工事
 令和3～6年度 蒲田西特別出張所 (仮庁舎) として使用
 令和7年度～ 地域活動施設

3 都区合同庁舎建設工事

東京都と連携し、都区合同庁舎の建設を進めていきます。

(1) 施設概要

ア 蒲田西特別出張所
 イ 地域包括支援センター・高齢者利用施設
 ウ 大田区いきいきしごとステーション
 エ 大田区社会福祉協議会
 オ 大田区シルバー人材センター
 カ 大田都税事務所

(2) 整備スケジュール (予定)

令和2～3年度 実施設計
 令和4～6年度 建設工事
 令和7年度～ 運営開始

| | | | | |
|-----|------|--|------------------|--|
| 問合先 | 担当部課 | 上記1(2)ア・2・3(1)ア 上記1(2)イのうち「新蒲田保育園、子育てひろば」 | 地域力推進部 こども家庭部 | 蒲田西特別出張所 保育サービス課 |
| | | 上記1(2)イのうち「中高生ひろば」 | こども家庭部 | 子育て支援課 |
| | | 上記1(2)ウ・3(1)イ、ウ、オ 上記3(1)エ | 福祉部 福祉部 | 高齢福祉課 福祉管理課 |
| | 所長 | 上記1(2)ア・2・3(1)ア | 荒浪 | 電話 3732-4785 |
| | 課長 | 上記1(2)イのうち「新蒲田保育園、子育てひろば」 | 津本 | 電話 5744-1276 |
| | 副参事 | 上記1(2)イのうち「中高生ひろば」 | 柳沢 | 電話 5744-1678 (放課後居場所づくり担当) |
| | 課長 | 上記1(2)ウ・3(1)イ 上記3(1)ウ・オ | 酒井 長岡 | 電話 5744-1255 電話 5744-1428 (元気高齢者担当) |
| | | 上記3(1)エ | 有我 | 電話 5744-1241 |
| | 担当者 | 上記1(2)ア・2・3(1)ア 上記1(2)イのうち「新蒲田保育園、子育てひろば」 上記1(2)イのうち「中高生ひろば」 | 小松 根本 高橋 | 電話 3732-4785 電話 5744-1279 電話 5744-1273 |
| | | 上記1(2)ウ・3(1)イ 上記3(1)ウ・オ 上記3(1)エ | 降旗 林 山本 | 電話 5744-1250 電話 5744-1252 電話 5744-1244 |

大森西地区公共施設の整備

重プ

予算額 1億909万7千円

副題：(仮称) 大森西二丁目複合施設の整備計画を推進します

ポイント

大森西地区における公共施設の更新や区民活動支援施設大森（こらぼ大森）の暫定利用期間の終了を受け、区民活動支援施設大森の敷地を中心に、周辺の公共施設の集約・複合化を行います。多世代が集う地域の拠点を整備することにより、区民の利便性の向上を目指します。

事業概要

1 コンセプト

- (1) 利便性の向上 統合後の校舎活用施設の敷地を中心とした施設の再編
- (2) 地域のにぎわい創出 多世代の方が多く集う地域の活性化拠点の整備
- (3) 防災拠点機能の強化 安全・安心なまちづくりの推進

2 施設概要

- (1) 大森西特別出張所
- (2) 大森西区民センター
- (3) 区民活動支援施設大森
- (4) 地域包括支援センター・シニアステーション
- (5) 大田区シルバー人材センター大森西作業所
- (6) 大田福祉作業所 大森西分場
- (7) こども発達センターわかばの家分館
- (8) 子ども交流センター
- (9) 大森西保育園
- (10) 防災備蓄倉庫

3 整備スケジュール（予定）

令和元～3年度 基本設計・実施設計

令和3年度～ 改修工事・建築工事

| | | | | |
|-----|-----------------|-----------------|----------------------------|-----------------------------|
| 問合先 | 担当部課 | 上記2 (1) (2) (3) | 地域力推進部 | 大森西特別出張所 |
| | | 上記2 (4) (5) | 福祉部 | 高齢福祉課 |
| | | 上記2 (6) (7) | 福祉部 | 障害福祉課 |
| | | 上記2 (8) | こども家庭部 | 子育て支援課 |
| | | 上記2 (9) | こども家庭部 | 保育サービス課 |
| | | 上記2 (10) | 総務部 | 防災危機管理課 |
| | 所長 | 上記2 (1) (2) (3) | 須田 | 電話 3764-6321 |
| | 課長 | 上記2 (4) | 酒井 | 電話 5744-1255 |
| | | 上記2 (5) | 長岡 | 電話 5744-1428 (元気高齢者担当) |
| | | 上記2 (6) (7) | 曾根 | 電話 5744-1679 (障害福祉サービス推進担当) |
| 副参事 | 上記2 (8) | 柳沢 | 電話 5744-1678 (放課後居場所づくり担当) | |
| 課長 | 上記2 (9) | 津本 | 電話 5744-1276 | |
| | 上記2 (10) | 長沼 | 電話 5744-1704 | |
| 担当者 | 上記2 (1) (2) (3) | 倍賞 | 電話 3764-6321 | |
| | 上記2 (4) | 降旗 | 電話 5744-1250 | |
| | 上記2 (5) | 林 | 電話 5744-1252 | |
| | 上記2 (6) | 山戸 | 電話 5744-1639 | |
| | 上記2 (7) | 田島 | 電話 5744-1316 | |
| | 上記2 (8) | 高橋 | 電話 5744-1273 | |
| | 上記2 (9) | 根本 | 電話 5744-1279 | |
| | 上記2 (10) | 林・平山 | 電話 5744-1235 | |

田園調布地区公共施設の整備

新規

重プ

予算額 16億6,345万8千円

副題：田園調布せせらぎ公園のさらなる魅力向上を図るため、

自然と調和した憩いの場を整備します

ポイント

田園調布せせらぎ館は、^{がいせん}「崖線の自然と共存し、多様な活動を受け入れる田園調布せせらぎ公園『森の縁側』」をコンセプトに実施設計を行い、令和2年度の開設を目指し、運営準備を進めています。

田園調布せせらぎ館開館後、田園調布富士見会館及び（仮称）大田区立田園調布せせらぎ公園体育施設の整備を進めます。

事業概要

1 田園調布せせらぎ館の開館

自然の情景や豊富な湧き水を活かすとともに崖線（がけ地）の景観に配慮し、田園調布せせらぎ公園休憩所及び田園調布富士見会館の集会室機能を集約します。

施設内では、利用者に快適な空間を提供するために、公園の緑を眺めながら飲食が可能な休憩スペースに加え、区立図書館所蔵資料の予約、返却、予約資料の受け取りが可能な図書サービスコーナー、また、多様なニーズに対応できる多目的室、集会室を配置します。

（1）整備スケジュール（予定）

| | |
|---------|----------|
| 令和元～2年度 | 建設工事 |
| 令和2年度～ | 施設運営開始予定 |

2 （仮称）大田区立田園調布せせらぎ公園体育施設の整備

地域の方々がスポーツや健康づくりに親しむことができ、スポーツを通じて地域の活性化にも繋がる体育施設を整備します。

（1）整備スケジュール（予定）

| | |
|---------|-----------|
| 令和2～3年度 | 基本設計・実施設計 |
| 令和3～5年度 | 新築工事予定 |

3 拠点公園の整備・運営（田園調布せせらぎ公園）

(1) 公園基本設計委託

公園整備案の作成にあたって、田園調布せせらぎ公園の将来像を広く共有するため、区民とのワークショップを開催します。

(2) 公園及び施設運営

民間事業者のノウハウを活用した効果的・効率的な運営を実現するために指定管理者制度を導入し、田園調布せせらぎ館と一体的に管理することで公園全体のさらなる魅力アップを図ります。

4 田園調布富士見会館の整備

田園調布富士見会館の大規模改修工事を行い、老朽化が進む田園調布特別出張所と地域包括支援センター田園調布を移転させる予定です。

特別出張所と地域包括支援センターとの複合化により、施設の機能強化を図ります。

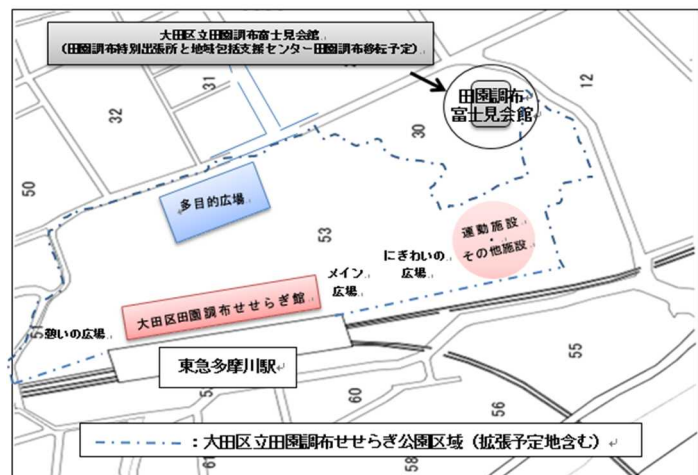
(1) 整備スケジュール

令和2～3年度

改修工事

令和3年度～

施設運営開始予定



| | | | | |
|-----|--|--|--|--|
| 問合先 | 担当部課 | 上記1・2・3(2)・4 上記3(1) 上記3(2) 上記4のうち「地域包括支援センター田園調布」 | 地域力推進部 都市基盤整備部 都市基盤整備部 福祉部 | 田園調布特別出張所 建設工事課 道路公園課 高齢福祉課 |
| | 所長 | 上記1・2・3(2)・4 | 土屋 | 電話 3721-4261 |
| | 課長 | 上記3(1) 上記3(2) 上記4のうち「地域包括支援センター田園調布」 | 大田 石井 酒井 | 電話 6436-8721 (基盤工事担当) 電話 5744-1310 (公園施設担当) 電話 5744-1255 |
| 担当者 | 上記1・2・3(2)・4 上記3(1) 上記3(2) 上記4のうち「地域包括支援センター田園調布」 | 齊藤 志村 首藤 降旗 | 電話 3721-4261 電話 6436-8726 電話 5744-1319 電話 5744-1250 | |

図書館 I C タグシステムの導入

重プ

予算額 6,825万4千円

副題：区立図書館で貸出・返却のセルフ化を実現します

ポイント

区立図書館では、利用者の利便性の向上及び業務の効率化のため、I C タグを活用したシステムの整備を行っています。

令和2年度はI C タグシステム関連機器を設置し、順次運用を開始します。

事業概要

区立図書館全館（16館）及び大田文化の森情報館に、自動貸出機・自動返却機・セキュリティゲートなどの機器を設置します。自動貸出機・自動返却機の導入により利用者がカウンターに並ばずに自身で貸出・返却ができるなど、さらなる利便性の向上を図ります。

これに加え、移転後の池上図書館では、予約本が自動で受け取れる機器も新たに導入します。



自動貸出機イメージ

整備計画（予定）

令和2年11～12月

自動貸出機・自動返却機・セキュリティゲートなどを設置、順次運用開始

※池上図書館は移転時に設置、運用開始予定

| | | | |
|------|------|-------|--------------|
| 問合せ先 | 担当部課 | 教育総務部 | 大田図書館 |
| | 館長 | 中平 | 電話 3758-3471 |
| | 担当者 | 青木 | 電話 3758-3051 |